



現在の子どもの様子		ねらい	行事	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> ・過ごしやすい気候になり散歩に行くことを楽しんでいて、また、一人一人散歩バックをもつことで戸外へ出ることの楽しみと虫探しなど自然物の収集を喜んでいて。(どんぐり・虫・花など) ・保育者に認められ褒められてもらうことで、活動に意欲を見せる子が多かった。 ・雨の日は、子どもたちが自然にコーナー遊びを取り入れて遊ぶ姿があった。また、役割分担を話し合うことも少しずつ出来るようになる。集団遊びも、ルールをきちんと覚え保育士がいなくても子どもたちだけで遊べる。トラブルがあると子どもたちで話し合うが、解決が難しい時は保育士に説明して助けを求めることができる。 ・水族館遠足を楽しみにしていて、遊びの中で遠足ごっこを楽しむ姿もあったので、水族館へ行った後の子どもたちの様子が楽しみに思う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に戸外で十分に体を動かして遊ぶ。 ・秋の自然に触れて遊ぶことを楽しむ。 ・遊びを通して運動会競技を楽しんでいく。 	<p>2 日 園遊会 9時半 4 日 園バス遠足 11 日 園遊会 12 日 園遊会 26 日 園遊会 17 日 園遊会 19 日 園遊会 24 日 園遊会 29 日 園遊会 30 日 園遊会</p> <p>地域との関わり</p> <p>散歩先でしっかり挨拶を交わし、交流を持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・過ごしやすい季節になり、朝から園庭へ出て元気に遊ぶことができた。異年齢児と一緒に散歩も楽しめたので、引き続き異年齢との関われる機会を増やしていきたい。遊びの中でも子ども同士で目的に向かって話し合ったり考えたりしていた。また、役割分担や協力する場面が多くなってきた。子どもたちの発言や行動を温かく見守り、遊びが発展できるように環境を整えていきたい。 ・パラバルーンなど運動会ごっこも楽しんでいて、無理なく楽しんでいきたらと思う。 ・話に夢中になり大事な話を聞き逃してしまうことがあるため、話を聞きやすい環境や保育士の言葉かけなど工夫するようにする。
内容	環境構成	保育士の配慮	取り組みの状況と保育士の振り返り	
<p>・手洗い、うがいを丁寧に行なうようにする。</p> <p>・気温や体調に合わせて衣類の調節をすることや、汗の始末や水分補給の大切さを知り、快適に過ごせるようにする。</p> <p>・友だちや保育者との関わりの中で自分の気持ちを表し、意欲を持って行動しようとする。</p> <p>・晴れた日には戸外でからだを十分に動かして遊ぼうとする。(運動会ごっこなど) また、目標に向かい、思いっきり体を動かしているいろいろな運動遊びを楽しもうとする。</p> <p>・共有の用具や遊具を大切に、片付けを丁寧に行なおうとする。</p> <p>・公共の場でのマナーや約束を知り、意識して行動しようとする (バス、水族館など)。</p> <p>・秋の自然の変化に、興味・関心をもていく。(気温の変化や、空の色、雲の形。木の葉の色づき、木の実。秋に見られる虫など)。</p> <p>・昔話や童話・素話などを楽しんで聞き、物語の内容を理解しようとする。</p> <p>・質問や問いかけに、自分なりに答えようとする。</p> <p>・散歩などで拾ってきた、木の実や落ち葉などの自然物で、製作あそびを楽しもうとする。</p> <p>・音楽に親しみ、曲やリズムに合わせて体を動かしたり歌ったりすることをしようとする。</p> <p>・食材の栄養の種類を知り、食べる意欲につなげる。</p> <p>・肉まんづくりに挑戦してみる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水道が混み合って危険がないように、順序よく行うように伝える。 ・衣類の調節や汗の始末が出来ない子どもには言葉を掛け、気づけるようにする。 ・自分の思いが認められたという体験を通して、自信が持てるようにする。 ・園庭にトラックの線を書いたり、用具を使うように準備しておいたりするなど、子どもの興味に応じた対応をする。 ・運動遊びが楽しめるように、遊具や用具を使いやすいように整える。また、片付けやすいよう、物の置き場を分かりやすく伝えておく。 ・友だちと協力して行なう運動遊びを取り入れる。 ・公共の場や乗車のマナー、約束事をしっかり伝え、意識をもたせる。 ・園外に出掛ける機会を多くもち、自然に十分に触れることができるようにする。 ・子どもが楽しめるような内容の物語を用意し、イメージを膨らませたり、落ち着いて見たり聞いたり出来る場を設ける。 ・自分気持ちを言葉で表現する場をつくる。 ・製作に必要な用具などの準備をする。(画用紙、ボンド、のり、ハサミなど)。 ・色々な太さの筆や画用紙を用意する ・親しみがわき、リズムの取りやすい曲や歌を取り入れる。 ・色別に分けた栄養図の掲示を行う。 ・手洗いをしっかりとできるように声をかけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体調を崩しやすい時期なので、より丁寧に手洗い、うがいをする必要性を知らせ、気付けるようにする。 ・一人ひとりの体調やあそびの様子に応じて、きめ細かく対応し、自分で気づいて、衣類の調節や汗の始末ができるようにしていく。 ・必要なときにはアドバイスをするなど、互いに伝え合う大切さを知らせるようにする。 ・運動あそびを十分楽しめるように、用具などを使いやすいように整え、また破損などがないか、確認する。 ・子どもの努力する姿や成果を十分に認め、励ます。 ・玩具や本などの片付け方や扱い方を知らせ、大切にしようとする気持ちがもてるようにする。 ・一人一人の姿を認め、友だちの良いところに気付けるよう働きかける。 ・公共の場では事前にも伝えるが、そのつど必要な言葉をかける。 ・園生活のなかで、自然の変化に気づくことができるよう、普段から、虫や木の実、木の葉の色づきなどについて話題にし、図鑑などを見る時間をもつ。 ・話を聞きながら子どもがイメージを広げられるように、話の仕方や雰囲気づくりの工夫をする。 ・話を聞く姿勢を繰り返し伝え、気付かせるとともに、自分でやろうとするのを待つ。 ・木の実や落ち葉などを使用したあそびの紹介や、十分に製作を楽しめるように、用具や素材を準備しておく。 ・クレヨンや筆を使い、自由にのびのびと描く姿を十分に認める。 ・食に関する絵本などを用意し、興味や関心が持てるようにする。 ・肉まんの皮がどんな風にできるのか、また、自分で具を包み食べる喜びを味わえる様に楽しめるよう配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士も一緒に手洗いやうがいを行っていき、もう少し習慣にしていけるように手洗いのイラストなどを活用していきたい。(わかりやすい表示) ・体調を崩しやすい時期のため、朝の受け入れの様子を把握し、触診など体調の変化に気を付けた。また、水分補給が減りつつあるため、活動の合間に飲めるようにしていきたいと思う。 ・活動を通して思ったことや意見が言える雰囲気をつくり、子どもたちが自分の気持ちを伝えるまで待つようにした。些細なことでも泣いてしまっていたが、泣く時間も減り気持ちを切り替えられるようになってきた様子。また、子どもたちで考えた遊びや活動を温かく見守り、協力する姿や自立心が見えてきたので、引き続き子どもたちの主体性のある活動を考えていく。 ・縄跳びや大縄跳びを楽しむ姿がよく見られようになってきた。共同で使った玩具や用具は大切に片付けられるように保育士が手本を見せて一緒に片付けるようにした。結果、片付けの習慣がついてきたと思う。 ・一つの遊びを友だち同士で役割決めやルールを決められるようになってきた。保育士は子どもたちのやり取りを見守りながら必要に応じて遊びが広がるようきっかけづくりをした。 ・散歩先ではすれ違う人に保育士が挨拶することで子どもたちも自然に声をかけるようになってきた。(遠足の水族館ではルールを守って行動できた)。 ・虫や木の実など興味がある物を見つけ、図鑑や絵本で調べられる時間をつくると子どもも喜んで取り組めた。 ・話を聞く姿勢を身に付けられるよう、環境を整えることや保育に工夫をした。気付かない子に対して、子ども同士で声をかけ合う姿もあったのでこれからも取り組んでいく。 ・実物や図鑑、写真を見て絵を描けるようにした。また、イメージしやすい言葉かけをおこなうようにした。今後もそのようにしていきたい。 ・パラバルーンなどリズムに合わせて楽しく活動するが、あまりやりたくない子に対して無理強いはないが、保育士と遊びを通して誘って一緒に参加し楽しめるようにした。 ・秋の味覚にはどんな食べ物があるかを子どもたちと話して出合った。 ・肉まんの皮づくりに苦戦するものの、こねた時の感触や発酵した時の不思議さを感じ楽しめた様子。いつも残す子も、自分で作った肉まんを嬉しそうに食べていた。自分で作って食べることを来月も楽しみたいと思う。 	
<p>養護(生・情)</p> <p>教育(健・人・環・言・表)</p>				
<p>食育</p>				